沖縄県教職員の働き方改革推進の現状について（令和５年７月末時点）

◇ 働き方改革推進の目的（「沖縄県教職員働き方改革推進プラン」より）

〇教職員一人ひとりが、充実した教職生活を送るためにワーク・ライフ・バランスを重視し、働きやすい勤務環境を整える

〇教職員が本来の業務に集中できる時間、児童生徒と向き合うための時間を十分確保し、質の高い教育を持続的に行うことのできる教育環境を整える

◆ 【達成目標】　月 80 時間を超える時間外勤務を行う教職員がゼロとなるよう取り組む

★　時間外勤務 80 時間以上の教職員の状況（月平均割合と月平均人数）

月平均割合（月平均人数）	R１	R２	R３	R４
市町村立小・中学校	5.5%（423.5 人）	4.0%（383.0 人）	2.9%（285.9 人）	2.7%（276.3 人）
県立学校	3.9%（221.5 人）	2.7%（156.6 人）	2.0%（116.6 人）	2.5%（146.9 人）

〈小・中学校の状況〉
・一定の改善傾向がみられる。
・中学校においては、部活動に係る時間外勤務の時間増加が懸念される。

〈県立学校の状況〉
・部活動に係る時間外勤務の時間増加が推測される。（コロナ禍前よりは減少傾向）

※沖縄県教育委員会：（小・中学校）教職員の時間外勤務時間数に関する調査（県立学校）勤務管理システム より集計

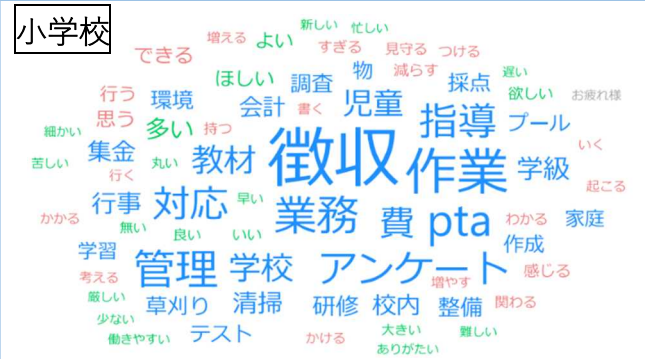
★　「学校における働き方改革アンケート（2023）」の実施状況と結果概要について

〇実施期間：令和５年４月 24 日～5 月 12 日　　（Google Forms を利用した Web 調査で実施）

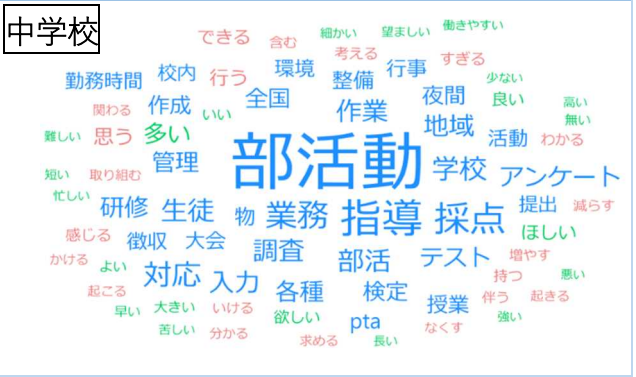
〇実施状況：対象者：本県公立学校教職員 16,243 名(R5.5 現在)　回答数：7,886 件(R5.5 現在)

結果概要：質問項目「改善または削減が必要と考える業務や制度」の記述回答におけるテキストマイニング結果
（ワードクラウド出現頻度順）　※ユーザーローカル AI テキストマイニングツール（ https://textmining.userlocal.jp/ ）による分析

小学校

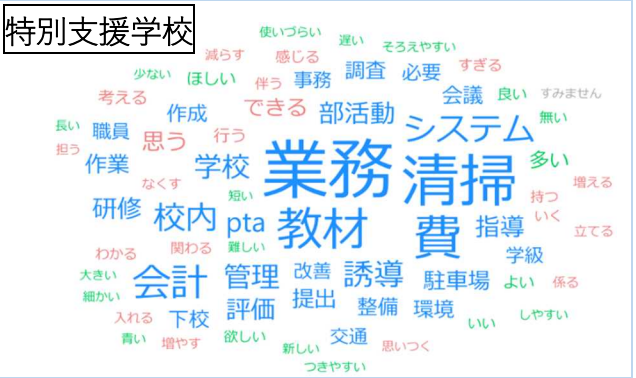


中学校



高等学校

特別支援学校



※ワードクラウドとは
・スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示しています。
・単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

★　県教育委員会の今後の対応

〇 アンケート結果等を元に、課題解決に向けた具体的な取組目標を設定する。

〇 市町村教育委員会や関係団体（各ＰＴＡ団体、スポーツ・文化活動団体等）との連携･協働を図りながら課題解決に取り組み、今年度からできることは今年度から取組を進め、改善を図る。

〇 令和６年度からの次期「働き方改革推進プラン（仮）」の策定も見据えて、実効性のある取組を推進する。